

八田ふれあいの会が動き出すまでの経緯

進んでは壁にぶつかり、試行錯誤しながら現在に至る過程を皆さんに知ってもらい、今まさに壁にぶち当たっている方たちの参考になれば嬉しいです。

①

ふくし小委員会（平成26年1月～平成27年4月）
南アルプス市社会福祉協議会の呼びかけで、モデル地区として「ふくし小委員会」が発足。この委員会は、地域課題を地域住民・団体の力で解決するための場として誕生。発足当時のメンバーは自治会、民生委員、高齢者関係、子育て関係、ボランティア関係の15名で構成されました。行く行くは「ふくし井戸端会議」として、市内の旧町村単位で構成し、地域組織の代表の方々が、地域の方だけでは解決し難い課題を検討提言をし、市や社協へ提案をしていくことを目的としました。今の協議体そのものです。

②

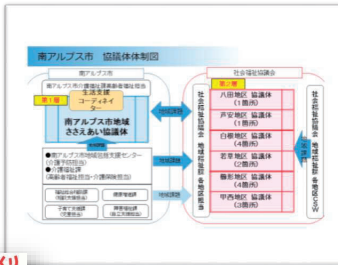
八田ふれあいプロジェクト（平成27年5月～現在）
ふくし小委員会が始まって間もなく、山梨県内は記録的な大雪となり、「災害」に直面。委員会での話題は、「災害」「防災」が中心となりました。「もしも」の時に支えあえる仕組みづくりを話し合ううちに、机上の議論ばかりでなく八田地区のみなさんにも一緒に考えて頂ける目に見える活動をしていくこととなりました。
平成27年5月、もしもの時の「地域支えあいの仕組みづくり」として、『組内世帯（家族）カード』の作成を開始。その節、ふくし小委員会では苦しいと感じ、やわらかな感じを出すために「八田ふれあいプロジェクト」として、第一歩を踏み出しました。ちなみに八田ふれあいプロジェクトは、みんなが代表、みんなが庶務係の関わりで自由にモノが言える集まりにするため、代表者などの組織はあえて作りませんでした。助成事業などの関係で今後対外的に必要となることを考え、のちに代表者を置くことになりました。ふれあいプロジェクトの初事業でもある世帯（家族）カードは、八田地区自治会加盟世帯約1670世帯、組数99組のみなさんに参加していただき、毎年更新を行っています。



③ 八田地区ネットワークづくりを考える会（平成28年8月～平成30年3月）

南アルプス市地域支えあい協議体の説明会が平成28年8月に開催、八田ふれ

あいプロジェクトのメンバーも参加しました。市内小学校圏域15か所が第2層の協議体が設置されることになり、八田ふれあいプロジェクトで目指してきた「ゆるやかな見守りや支えあいのネットワークが出来たらいいね」と協議体の目指すものが同じであることから、八田ふれあいプロジェクトが第2層協議体の核となって活動を進めることとなりました。呼び名は「八田地区第2層協議体」より「支えあいのネットワークづくりを考える会」としたほうが分かりやすいと判断しました。



協議体って…つまり何をやるってこと？

- みんなでワイワイ自分の地域のことを話してみよう
- 地域のよいところ探し
- 心配なこともある？
- 誰が困っている？
- 調査してみようか
- 私たちができることあるかな
- みんなで知恵をだしあおう
- 自分が将来支えてもらえるような地域にしたいなあ

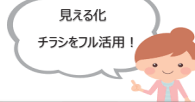
④ 八田ふれあいの会（平成30年4月～現在）

ふくし小委員会から始まった会の名称や活動がいろいろあったため、参加者が戸惑うことも多くなり、ご意見から名称と活動の住み分けを統一しました。第2層の協議体は「八田ふれあいの会」と名称を変更し、第3層の自治会単位には「〇〇ふれあいの会」としました。
*八田ふれあいプロジェクトは独自の活動をしながら八田ふれあいの会をバックアップする団体として同じ目的をもって継続中。



協議体を理解してもらうには？ 住民への説明は難しい…

じゃあ、寸劇でやってみよう



各方面で大評判



八田地区で今、動き出していること

六科
春闘開催に呼びかけて、区民のみなさんに参加して頂き、防災やみなさんの関心事などについて、活動内容を検討していく予定です。アイデア、ご意見をお待ち下さい。

野牛島
賑やかな地域のグループに呼びかけて、気負わず楽しみながら活動を目指しています。ふれあいの会野牛島は毎月第1日曜日を「餅つき会」開催センターで開催しています。遊びに来て下さい。

上高砂
「いきいき百歳仲楽」の開催に向け、スタートしました。百歳仲間や若者づくり、地域課題の井戸端会議で地域づくりを目指します。初回は10/17(水)14時から上高砂集会所で開催します。どなたでも参加OK!

徳永
住居のつながり、支えあいは、地区の行事の開催を助けるなど、今ある活動を活かして、住居のつながりを行ってみたいと思います。また、募財会による戸別訪問や地区全体の活動による地域づくりを目指します。

下高砂
始めのうちは「暮らしの相談」から「買い物支援」まで、住居手づくりの世代を結ぶ支援活動を行っています。「あいの会」づくりの場、手紙に「助けてほしい」と伝える場所、子ども高齢者も一緒に一人にさせない、そんな心と心ない繋がりがある地域づくりを目指しています。

お知らせ
組内世帯（家族）カード
もしもの時に支えあえる仕組みづくりとして、平成27年に八田地区で組内世帯（家族）カードを作成し開始してまいりました。準備中や変更中の方がおられるか、変更中の方や八田地区社会福祉協議会へお問合せ下さい。
防災出前講座-避難所運営ゲーム (HUG)
八田ふれあいプロジェクトでは、南アルプス市社会福祉協議会の協力のもと、「防災」をテーマに取り組みしています。昨年度「避難所」運営講座など、もしもの時に一人でも多くの命を救うために役立つ取り組みを行っています。社会福祉協議会避難所運営ゲーム(HUG)の開催も行っています。ご利用下さい。

『ちょっとした気づき』
そこに気づくことが始まりです

出来る人が 出来ることを 出来るだけ

活動や進み方はそれぞれ
焦らずゆっくりゆっくり

④ 地縁の助け合い・交流